

令和8年7月15日（水）

香川県水産課 豊かな海づくり・漁港整備グループ

担当者 松岡、澤田、秋山（内線 3948）

ダイヤル 087-832-3470

養殖ハマチのへい死被害発生について

直島漁協の漁業者が養殖しているシマアジに加えて、新たにハマチについて、赤潮によると疑われる被害（へい死）が発生しましたのでお知らせします。

1 シマアジ、ハマチのへい死被害

〔原因と思われるプランクトン〕

○シャットネラ（アンティカ、マリーナ）

〔被害の概要〕（7月15日12時現在）

○シマアジへい死尾数 約1,000尾（変更なし）

○ハマチへい死尾数 約2,400尾（新たに追加）

○推定被害金額 調査中

※その他の漁業被害の報告はありません。

今回の赤潮により、魚介類が毒化することはなく、本県水産物の安全性に問題はありません。（赤潮によりへい死した魚介類が出荷されることはありません。）

（報道機関へのお願い）

船舶、ヘリコプター等による取材は、養殖魚の活性化を招き、被害が拡大するおそれがありますので、ご遠慮ください。

〔理由〕

◇赤潮対策のため、現在、養殖魚に餌を与えていませんので、船舶が近づくと養殖魚が餌をもらえるものと思い、表面付近に浮上して遊泳します。その結果、養殖魚が表面付近の赤潮に曝され、かつ酸素消費量が増加するため**養殖魚がへい死に至る可能性があります。**

◇ヘリコプターについても、爆音によって養殖魚が興奮するため、同様に**養殖魚がへい死に至る可能性があります。**

◇漁業者はへい死魚を取り上げる以外は近づかず、養殖魚を落ち着かせるよう努力をしています。